設計内容説明書【共同住宅等-住戸用】

	性	能	表示	確	認		設計内容説明欄		設計 内容
	事			項	[目	項目	設計内容	記載図書	確認欄
高齢	9-	-1	产等 香				特定寝室(室名:)	□平詳図	
者	高	齢者	羊等 香	3			・特定寝室と同一階にある部屋		
等へ	慮	対第	等制	支	部屋の	特定寝室と 同一階に	□ 玄関 □ 便所 □ 浴室 □ 洗面所 □ 食事室		
\mathcal{O}	(草	9 用	部 分)	配置等	ある室	□ 脱衣室		
配慮							・ホームエレベーターの有無 [□有□無]		
に 関							・ホームエレベーター出入口の幅員(mm)		
配慮に関すること							・玄関出入口	□平詳図	
るこ							くつずりと玄関外側(mm)	□矩計図	
と							くつずりと玄関土間 (mm)		
							・上がりかまち (mm)		
						出入口等	・浴室出入口 □ 単純 □ またぎ mm)		
						(日常生活	・バルコニー出入口 □単純 □またき mm)		
					段差	空間内)	・タタミコーナー等		
					权左		奥行(mm),幅(mm),蹴上(mm)		
							・踏み段		
							奥行(mm),幅(mm),蹴上(mm)		
						その他	·室名()		
						(日常生活	•段差(<u>mm</u>)		
						空間外)			
						勾配等	・けあげ (mm)・踏面 mm)	□ 平詳図	
						. 3117 (1	·勾配 (/)	□ 階段詳細図	
						蹴込み	・蹴込み寸法(mm)・蹴込み板(□ 有 □ 無)		
							・階段の形式()		
					階段	形式等	・最上段の通路等への食い込み(□ 有 □ 無)		
					1/日4×		・最下段の通路等への突出 (□有□無)		
							・滑り止め (□有□無,踏面と同一面)		
						滑り防止段 鼻手摺の	・段鼻の出(□ 有 □ 無)		
						設置	・階段 (□両側設置 □片側設置)		
							手摺高さ() mm		

設計内容説明書【共同住宅等-住戸用】

	性	能	表示	確 認		設計內容説明欄		設計
	事		項	項目	項目	設計内容	記載図書	内容 確認欄
高龄	9-	-1				・便所 □ 立ち座り	□平詳図	
者	高	齢者	子等配 5 等級	1		・浴室 🗆 浴室出入口 🗆 浴槽出入り	□矩計図	
等へ	慮	対策	等級		手摺の	□ 浴槽立ち座り □ 姿勢保持 □ 洗い場立ち座り	□仕様書	
の	(専	1月	部分)		設置	・バルコニー出入口(□設置、等級3,2の場合は設置可)		
應慮						·玄関 (□ 設置 □ 設置可)		
配慮に関すること						・脱衣室(□ 設置 □ 設置可)		
はする						・バルコニー		
る こ				手摺	転落防止の手摺の	腰壁の高さ(mm)		
と						手摺高さ(□ 腰壁より □ 床面より) mm		
						・窓(2階以上)		
						窓台の高さ(mm)		
					設置	手摺高さ(□ 窓台より □ 床面より)		
						・住戸内の廊下及び階段(開放されている側)		
						腰壁の高さ(mm) 手摺高さ(mm)		
						・手摺子の内法寸法 □ 110mm以下 □ 110mmを超える		
						•最小有効幅員 (mm)	□平詳図	
					・柱等の箇所 (mm)			
	 		通路の幅	•玄関 (有効 mm)				
				出入口の 幅員	員出入口 の幅員(バル コニー勝手口 等を除く)	·浴室出入口(有効 mm)		
				(日常生活		・玄関・浴室出入口以外の室の出入口		
				空間)		(最小幅員		
						□ 工事を伴わない撤去により対応可		
						□ 軽微な改造により対応可		
					淡宝の	・内法の短辺寸法 (□平詳図	
					浴室の 寸法	ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式ウスとの方式	□UB詳	
				・ユニットバス型番()				
					・内法寸法 長辺(mm)短辺(mm)			
				□ 短辺が便器後方の壁から便器の先端+500mm以上				
		寝室、便所 及び浴室		□ 便器の前方に500㎜以上確保				
				(日常生活	便所の	□ 便器の側方に500mm以上確保		
				空間)	寸法等	□ 工事を伴わない撤去により対応可		
						□ 軽微な改造により対応可		
						□ドア開放により対応可		
						・便器の形式 (□ 腰掛け式 □ その他)		
					特定寝室	特定寝室(室名:)		
					の面積	•內法面積 (m²)		

設計内容説明書【共同住宅等-住戸用】

	性	能	表	示	確 認		設計内容説明欄		設計 内容
	事			項	項目	項目	設計内容	記載図書	確認欄
高齢	9-	-2				幅員	幅員(mm)有効幅員(mm)	□仕様書	
者	高	齢者	f 等 i	配		歩行補助	□片面設置 □無	□平面図	
への	慮	対策	等;	級		手摺	・床面からの高さ(mm)	□矩計図	
配慮	(‡	も 用	部分	ì)		開放廊下	・腰壁の高さ (mm)		
慮に						の転落防	・手摺高さ(□腰壁より□床面の先端より) mm		
関す		該当	なし			止用手摺	・手摺子の内法寸法 🗆 110mm以下		
ること							□ 段差なし		
<u>し</u> と							・高低差 [□ 有 □ 無 (mm)]		
							・高低差が生じる場合の構造 勾配()		
							□ 傾斜路(勾配1/12以下)と段の併設 □ 傾斜路(勾配1/15以下)の設置		
							□ 傾斜路(勾配1/8以下)の設置、かつ高低差80㎜以下		
					 共用廊下		•傾斜路の構造		
					(エントラン		手摺(□ 両側設置 □ 片側設置 □ 無)		
					スホールを 含む)		手すりの床面からの高さ (mm)		
					1		有効幅員 (nm)		
						床の段差	•段の構造		
						等	有効幅員(
							けあげ(mm)・踏み面(mm)		
							段の蹴込み寸法(mm)		
							蹴込み板 (口有口無)		
							最上段の通路等への食い込み (□有□無)		
							最下段の通路等への突出 (□有□無)		
							滑り止め (□ 有 □ 無 □ 踏面と同一面)		
							段鼻の出 (口有口無)		
							手摺 (□両側設置 □片側設置 □無)		
							段鼻からの手摺の高さ (mm)		

l	性	能 表	示	確認		設計内容説明欄		設計 内容
	事		項	項目	項目	設計内容	記載図書	確認欄
高船	9-	-2				·幅員(nm)	□階段詳細図	
断者	高	齢者等	至		幅員勾配	・けあげ (mm)・踏面 (mm)	□平面図	
等	慮	対策等	章 級		等	·勾配 (/11)		
へ の	(‡	共用 部	分))		•蹴上×2+踏面(mm)		
配					蹴込み	・蹴込み寸法(mm)		
慮に関		該当なし	_		跳込み	・蹴込み板 (□有□無)		
関						・階段の形式		
すること					T/2 12 /4/2	(□ 踊場付き折れ階段□ 直階段 □ その他)		
ا ۲				共用階段	形式等	・最上段の通路等への食い込み (□ 有 □ 無)		
と						・最下段の通路等への突出 (□有□無)		
					昇降補助	□ 両側設置□ 片側設置 □ 無		
					手摺	・段鼻からの高さ (mm)		
					滑り防止	・滑り止め (□ 有 □ 無、踏面と同一面)		
					段鼻	・段鼻の出 (□有□無)		
					転落防止	・腰壁の高さ (mm)		
					用手摺 (外部開放	・手摺高さ(□ 段鼻より □ 腰壁より) mm		
					階段)	・手摺子の内法寸法 🗆 110mm以下		
					エレベー	・住戸位置(□ 建物出入口の在る階 □ 左記以外)	□平面図	
					ターの利用	・エレベーター設置 (口有口無)	□EV詳	
						・出入口の有効幅員(mm)		
					ターの仕様	かごの奥行き寸法 (mm)		
						エレベーターホールの寸法		
					ホールの広さ	□ 1,500mm×1,500mm 以上		
					経路上の	□ 建物出入口からエレベーターホールまでの経路上の段差なし		
					床段差	・高低差 [□ 有 □ 無(mm)]		
						□ 傾斜路(勾配1/12以下)と段の併設 □ 傾斜路(勾配1/15以下)の設置		
						□ 傾斜路(勾配1/8以下)の設置		
						・傾斜路の構造		
						·手摺(□ 両側設置 □ 片側設置 □ 無)		
				エレヘーター		床面からの高さ(mm)		
						•有効幅員 (mm)		
					び段の構造 (建物	・段の構造		
					出入口から	有効幅員(mm)勾配 (/)		
					エレベーターホール	けあげ(mm)・踏み面(mm)		
					への経路	段の蹴込み寸法(mm)		
					上の床の高	蹴込み板 (口有口無)		
					(低差が生しる 場合)	最上段の通路等への食い込み (□有□無)		
						最下段の通路等への突出 (□有□無)		
						滑り止め (□ 有 □ 無 □ 踏面と同一[)		
						段鼻の出 (□有□無)		
						手摺 (□両側設置 □片側設置 □無)		
						段鼻からの手摺の高さ(皿)		